

韓国・ブندان日本語補習授業校

ニュースレター2021 No.04

教師養成講座、クラブ活動、様々なイベントが進行中です。力を注いでくださっている皆さんに感謝します。今号は小3、小1児童保護者で今年度幼稚部年中担任をしてくださっているP.K.さんと、今年度小学部入学児童の保護者である石川さんにご寄稿いただきました。

2年前の今頃、娘たちに日本語を教えようと私はひとりで必死になっていました。そんな時に出会ったのが補習校です。HPで補習校を知り、9月に体験入学をして、すぐに入学を決めました。

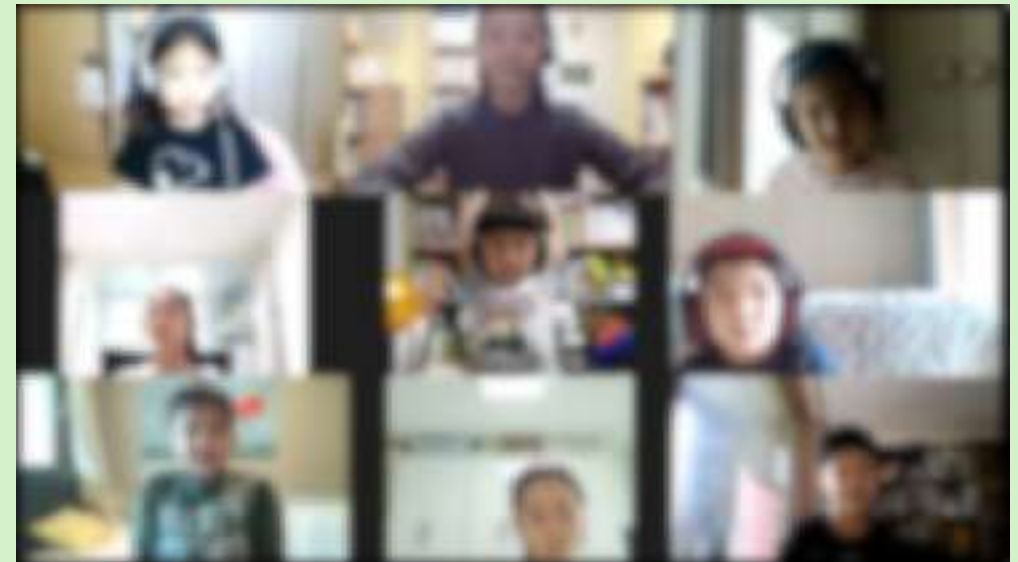
「みんな日本語を話してたけど韓国語も話せるの!?私と同じだね!」アンパンマンとポロロを見て育ち、日本と韓国どちらにも親しみをもって育った娘が、初めて「仲間」と出会った瞬間でした。また、娘が日本語をリラックスして話せる場は家庭以外では補習校が初めてでした。補習校に通ってからの娘は、仲間や先生にたくさんの刺激をもらい、勉強も一生懸命するようになりました。

補習校で出会いに恵まれたのは娘だけではなく、私も同じです。それまでは子どもに日本語を教えようとひとりで悩みを抱えていましたが、補習校で他の保護者の方と出会い、心強い味方ができたような気持ちです。

今年度からは、補習校への感謝を何らかの形で少しでもお返しできるなら、と年中クラスの担任として、子どもたちと一緒に学んでいます。教える立場に立つのは初めてで未だに慣れないことが多いのですが、年中クラスの子どもたちの発刺とした笑顔にエネルギーをもらいながら授業をしています。

補習校との出会いに感謝をし、また、この場をお借りして大皿先生そして補習校に通う皆さまに感謝申し上げます。長い自粛生活が続きますが、皆さまどうぞお体大切にお過ごしください。(P.K.)

「おむすびころりん すっとんとん♪」



2021年度小1音読発表会「おむすびころりん」動画より

21年度新入生保護者の声

小学部1年保護者 石川

ワンシムニの日本語教室に通い始めたのがきっかけで、泰子先生と出会い、今年韓国・ブندان日本語補習授業校に入学しました。

初めは日本語を勉強として再スタートすることによって、日本語が嫌いにならないか心配していました。しかし親の心配をよそに、先生やお友達のお陰で娘はとても楽しそうに授業にも宿題にも取り組んでいます。補習校のお陰で、娘の得意不得意もわかってきました。親として、子供のやる気を育みつつ、陰ながらサポートしていけたらと思っています。

補習校という場を作ってくださった泰子先生、恭子先生に感謝します。

2021. 7. 8発行